

今月の寺ともさん

いしかわ
くみ
石川 久美 さん

今月の寺ともさんは、石川久美さんです。香川県聴覚障害者協会が開催している手話奉仕員養成講座を受講して2年目を迎えます。

石川さんが、この講座を受講したキツカケは、既を受講していたお友達に誘われたからでした。

この講座の背景には県内で行っている手話通訳士として派遣される人材が不足している現状があります。

この派遣制度は、聴覚障害者が公的機関や医療機関などへの外出が必要な際に手話通訳士を派遣するものです。年間2千件の派遣依頼に対応できないケースが起きていると伝えられています。

石川さんが入門編を受講した昨年は、40人の定員に対して百人もの応募があったそうです。

と言うのが、一昨年放送された聴覚障害者を主人公にしたドラマ「星降る夜に」の影響があったようです。



特に手話に興味のなかった石川さんですが、初めての事柄を覚えることだらけで、身に付いたら段々面白くなってきたのだとか。手話を知っていると、災害の時でもろう者の役に立てたらという思いで勉強されています。

講座は、月3回毎週土曜日の午後2時から2時間あります。それに先立って午前中も2時間仲間との勉強もあります。同年代の方や現役の高校生とも接して交友の幅がどんどん広がっているそうです。今秋、日本で初めて開かれるデフリンピックも楽しみにしておられ、還暦を過ぎて改めて学ぶ喜びを味わっています。おいしくつになっても挑戦し続ける姿には敬服致します。

ご自慢のペットちゃん

名前…ババロア
種類…雑種
好物…ハム
性別…♀
お年…3歳
住所…高松市 小田さん宅
性格…おとつちやま・我がまま
苦手…カミナリ



エピソード…お祖母様が亡くなり、お祖母様が偲ばれる名前にしようということで、ババロアに決まった通称、ババちゃんです。しつぽの森で、3か月の頃もらい受けました。大型トラックにぶつかったこともありましたが、至って元気です。散歩の途中、立ち寄る一人暮らしのおじさんちで「ババちゃん、おじさん呼んで」と言うので、「ワン」と吠えておじさんが中から出て来てくれます。日本語が通じてるババちゃんです。

総代さん便り

総代の松本です。四月初旬に背骨を圧迫骨折してしまいました。七年前骨折しよう症と言われたにもかかわらず治療を怠っていました。日常生活のちょっとした動作で骨折してしまい反省しております。起き上がる時痛みがひどく、もうこのまま起き上がれなくなるのではないかと不安で一杯になりました。お医者さんには「そりゃ折れるからね」と軽く言われました。楽しみにしていたヨガ、生け花、講演会など全てキャンセル、日々の買い物にも行けず困りました。人に頼らず自分で何でもできる事がどんなに貴重だったかが分かりました。この期間有難く思ったのは、すでに経験されている先輩の方々の言葉です。「一か月は無理しないで」「少しずつ痛みがとれてくるから」「動けるようになったら外へ出て」など。今七割程の回復状態ですが、痛みも大分引きコルセットをして外出できる様になりました。これから暑さに向いますが、皆様お氣をつけてお過ごしください。